

自民党 江東区議会議員

にしがき 誠

「政治理念」
志を抱き、皮相の動きにとらわれず、断固初心を貫く!



平成28年度の策定された予算について審議する「平成28年度予算審査特別委員会」で、一般会計予算（議会費・総務費・民生費・衛生費・産業経済費・土木費・教育費・公債費）のうち、総務費・産業経済費・土木費・教育費の中身について質問いたしました。
長文となりますが、私の政策の根幹にも触れておりますので是非とも裏面をご確認ください。
なお、質疑応答の様子は江東区議会のホームページの録画中継でご覧いただけます。

深川五中前の歩道橋を撤去後、横断歩道を新設し、歩車分離式信号機の設置を要望いたしました！



Info 第7回・第8回 区政報告会
※参加費無料
(小さなお子様連れも大歓迎です!)

★古石場文化センター・第1研修室(2F)
【日時】7月25日(月)
10:00~11:30
※9時45分受付開始

★豊洲シビックセンター・第6研修室(8F)
【日時】7月30日(土)
10:00~11:30
※9時45分受付開始

区政レポートや街頭演説ではお伝えしきれないことがたくさんございます。今回も有意義な情報交換の場となることと確信いたしております。ご友人の皆様も誘いあわせのうえ、お気軽にお越しください!

深川第五中学校前の歩道橋のある交差点は、歩道橋下の横断歩道のない箇所を通行される交通マナー違反が目立っておりました。

そこで、町会長、近隣小中学校の学校長ならびにPTA会長の合意形成を取り付け、私を含めた7名の連名で「歩道橋の撤去ならびに横断歩道の新設」について、道路管理者である東京都と、信号機の管理者である深川警察署へ要望書を提出いたしました。

なお、当該交差点は小中学校の通学路でもあるため、“**歩車分離式信号機**”の設置を必須条件といたしました。

今後の予定ですが、次年度に歩道橋撤去の調査予算が計上され、早くも平成29年度中、遅くとも平成30年度には要望書とおりの改良が施行される見込みです。

地域住民の皆さん、もう少々お待ちください!

皆様のお声をお寄せください!

お問合せ先
公式ホームページ◆<http://nishigakim.jp/>
携帯電話◆090-1110-5392
事務所◆江東区豊洲4-9-13-207
発行責任者◆西垣 誠

にしがき誠 プロフィール
◆昭和47年1月 大分県出身
◆平成6年3月 明治大学商学部卒業
◆職歴：平成6年4月 国内金融機関就職～外資系金融機関勤務～
江東区議会議員(自民党所属) ※所属委員会：【常任委員会】厚生委員会【特別委員会】清掃港湾・臨海部対策特別委員会



**お年寄りを敬い
こども達が輝く地域へ!**

【江東区における活動の経歴】◆豊洲北小学校初代PTA会長(6年間)◆深川第五中学校PTA副会長◆江東区青少年対策豊洲地区委員会委員(育成部長)◆区立小学校PTA連合会会長◆保護司◆青少年問題協議会委員◆生活安全対策協議会委員◆環境審議会委員◆砂村囃子豊洲保存会会長◆豊洲陸会員◆牡丹町公園ラジオ体操会会員◆金剛禅総本山少林寺東京辰巳道院顧問

★平成24年11月3日「江東区政功労者表彰(教育関係功者)」受章

にしがき誠

平成28年度予算審査特別委員会 一般会計予算質疑応答

【一般会計予算】★赤字が質問項目

- 議会費・総務費・民生費・衛生費・産業経済費・土木費・教育費・公債費

【教育費】・学校安全対策事業について ・学校施設の団体利用について

Q1：昨年9月の決算審査特別委員会でも新たな道具の追加配備を強く要望したが、小中学校に配備されている“さすまた”だけでは緊急事態発生時に児童・生徒を守れないと危惧する。その後の検討状況はいかがか？

A1：小中学校の校長会などから要望がなかったため、予算要求をしたが決裁がなされなかった。今後警察の意見もいただきながら、検討を進めていきたい。

★予算要望がなかったから、という答弁は極めて遺憾である。学校設置者としての本区がその必要性を認識すべきである、と強く申し入れをしました。児童8人が犠牲となった大阪・池田小事件から本年6月8日で15年。学校安全対策にゴールはありません。本件は今後も必要性を説き、新たな道具の配備（護身用盾など）を必ず実現させます！

Q2：放課後に区内小学校の校庭などを利用する外部団体の活動により、“きっずクラブ”の活動に支障が出ているケースがあるとお聞きしている。あってはならない事象であり、本区としてどのように現状を認識しているのか？

A2：貸し出し時には支障が出ないと認識していたが、そのような事象があるのであれば、外部団体の利用を見直す必要があると考える。

★公立の学校施設は世帯の所得状況等に関わらず等しく教育を受けるための施設である。目的外使用については学校教育上の支障が発生しないよう、今後もしっかりとチェックしてまいります！

【産業経済費】・観光振興と地域活性化について

東京湾大華火大会の
早期再開を
目指します！



Q：当面の間休止とされている東京湾大華火大会について、本区主導で早期の再開を目指したいと考える。

また、本年オリンピックが開催されるリオデジャネイロのように、大晦日に“カウントダウン花火”を実施して2020年オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成の一助としたいが、本区の見解は？

A：広範囲に渡る警備や交通対策など課題が多く、再開を検討するとされている中央区の動向を注視していきたい。また、深夜の花火大会は周辺住民の合意形成が困難であると考え。

★豊洲・有明・東雲など湾岸地域のマンション購入者にとって、東京湾大華火大会は当然継続されるものと信じていた。地元商店街への経済効果の寄与はもちろん、マンション資産価値の維持・向上にも寄与するものであり、私は今後近隣区とも連携して早期の再開を目指します！

【土木費】・交通安全普及啓発事業について

Q1：H27年度は区内交通事故が対前年150件増であるが、交通安全教育について今後新たな啓発事業について計画はされているのか？

A1：区内の保護者、企業の方々や、高校生にも啓発の範囲を広げる。また、庁有自転車の“かご”にも啓発の表示をするなど工夫をしていく。

★加害者の賠償資力の確保と被害者の泣き寝入りを防ぐ両観点より、自転車保険の普及・啓発について区内3交通安全協会の方も借りるべき。お隣中央区でも自転車保険の公費負担が発表されており、自転車保険の啓発について機運が醸成されている、と申し添えました。

なお、28年度は「江東区自転車利用環境推進方針」において、自転車保険の加入促進が推進方針に位置付けられました。

Q2：自転車専用レーンについて、今後の交通安全対策と、コミュニティサイクルを利用されることが想定される観光客も含めた自転車のマナーについての啓発は？

A2：ドライバーへの啓発に加え、区内インターナショナルスクールの生徒にも啓発をしていく。また、警察も入ったレーン整備連絡会において、今後具体的な検討を進めていく。

★交通事故防止の観点より、自転車専用レーンには駐車監視員が通勤・通学時間帯等は常駐するなど、違法駐車対策を強化すべき。また、今後整備がされていく豊洲新市場のエリアは特に、自転車と歩行者の接触事故が危惧されるため、歩車をしっかりと分離するよう要望いたしました！

【総務費】・区内在住外国人交流事業について ・区民交通傷害保険事業について ・こども110番の家事業について

Q1：本区内にはインターナショナルスクールが3校あり、区内在住外国人の方々の英語力を今後本区の英語教育を含めた地域貢献にさらに活かしていただくよう取り組むべきと考えるが、本区の見解は？

A1：多文化共生社会の実現に向けて必要と考える。区内のボランティア団体と連携をさらに深め、人材の活用強化について前向きに検討する。

Q2：本区が幹旋している区民交通傷害保険について、自転車保険の賠償限度額が1千万円では近年の賠償概念からは低すぎる。限度額を5千万円、1億円のプランも追加すべきと考えるが、本区の見解は？

A2：他区と共同で実施している保険制度であり、本区のみプランの追加は困難である。限度額は低いが、保険料が安く加入しやすいプランとしての位置付けにて今後も運営をしていく。

★江東区報などでの加入者募集の際「1千万円の限度額では事故発生時に不足する可能性が高く、最低限の補償である」旨の明記をするよう強く要望いたしました！

Q3：こども110番の家について、所在地の周知について取り組みが浅いのではないかと。本区内で良い取り組み事例があればご教示いただきたい。

A3：小学校では新1年生への通学路安全指導で、本区青少年課作成のこども110番の家が掲載されている“地域安全マップ”を活用している。また、地域によっては“110番の家探し”などのオリエンテーリングを実施して周知を深めている事例もある。

★PTAの研修会などを通じて、良い取り組み事例を広く共有するように要望いたしました！